

在宅勤務者のメンタルヘルス

開催日

2022年10月16日(日) 13:00~16:30

会場

立正大学 品川キャンパス 定員108名

取得単位

日本精神神経学会精神科専門医B群 3単位

※申請中

日本医師会産業医 生涯研修(専門) 3単位

参加費

会員医師：6,000円 非会員医師：7,000円 医師以外：4,000円

第Ⅰ部

講演

13:05~14:15

リモートワークと精神科診療

岩谷 泰志 先生 (ペディ汐留こころとからだのクリニック 院長)

今回のウィルスパンデミックとそれによって生じたリモートワークにより、我が国でも在宅勤務が多くなった。この就労環境の変化を背景に、精神科外来においても特徴的な臨床像を示す患者が散見されるようになった。この専門研修では環境への適応をめぐる反応という理解のもと、元来のパーソナリティ特性の分析と環境変化に関する分析から、その本質と対策を考察し、産業医業務の可能性を模索する材料を提供する。

第Ⅱ部

事例検討

14:25~16:25

在宅勤務者の「怠業」、 「孤独」と「過剰適応」

～パンデミック後の環境変化に適応できない人たちにどう対処するかを考える

海老澤 佐知江 先生 (アルバ・メンタルクリニック 院長)

新型コロナウイルスのパンデミックにより、職場環境が大きく変わり、多くの勤労者が在宅勤務を強いられることとなった。業務実態が見えない「怠業」は、パーソナリティや発達の特性などが背景にある場合が多くみられるが、コミュニケーションの欠如による「孤独」や公私が分けられず業務過多になってしまう「過剰適応」などでメンタルヘルス上の問題が生じるケースも少なからず認められる。本実地研修では、在宅勤務者の休復職のケースの紹介と、ケース2例の検討を予定している。

参加申込は学会ホームページへ (8/1受付開始・先着順)



注意事項

- 参加者への連絡はメールで行います。@jcop.xsrv.jpからのメールを受信できるように設定してください。
- 今後の感染状況や政府・東京都からの要請により、開催中止（延期）または一部内容を変更する場合があります。最新情報は学会ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。
- 参加費は、当日会場でお支払いください。
- 単位付与はプログラムの全てをご聴講いただくことが要件です。やむを得ず遅刻、早退をされる場合は、取得単位数が変わりますのでスタッフにお申し出ください。
- 会場内では感染対策にご協力ください。
- 会場は換気のため室温が上下する場合があります。予めご了承ください。

当日のご案内

- 会場は、1号館第7会議室です。
- 当日は12:30よりご入構いただけます。正門からご案内に沿ってお進みください。
※山手通り口からは入構できません。「大崎警察署」左側の坂道を上り、正門をご利用ください。
- 日曜日のため大学の施設は全て閉まっております。必要なものはご持参ください。

会場アクセス

立正大学品川キャンパス
東京都品川区大崎4-2-16

大崎駅より徒歩5分

JR山手線

五反田駅より徒歩5分

JR山手線・都営地下鉄浅草線

大崎広小路駅から徒歩1分

東急池上線

不動前駅から徒歩13分

東急目黒線

※大学への直接のお問い合わせは
ご遠慮ください。

※エレベーターが混みあいますので、
分散してのご来場・ご退場にご協
力をお願い致します。

